多久頭魂神社所蔵　重要文化財

本事業は、文化庁美術工芸品国宝・重要文化財保存修理抜本強化事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

高麗版一切経を修理しました

平成30年度(2018)から修理が開始された「高麗版一切経」は、令和2年度(2020)に3か年の修理期間を経て149冊が返却されました。令和3年度(2021)から第2期として次の150冊の修理がスタートします。

149/1021冊

BEFORE・・・

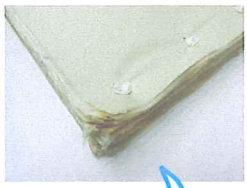
本紙に挟まっていた人毛（?）

AFTER!

一冊の中でも性質の異なる紙が使われていたため、欠損部の補修に当たっては、五一二通り以上の補修紙を作り、可能な限りオリジナルに近づけていきました。

本紙には人毛(?)が挟まっており、これは印刷するときに用いるバレンに人毛(?)をロウで固めたものが使用されていたためと考えられています。

512通り＋αの補修紙を作成！



再現された紙釘が打ち込まれています

経典は通常の組綴じのほかに、「紙釘（していぎ）」という硬くよった紙を打ち込んで綴じられていました。この紙釘も再現しています。

1冊のうちでも違う紙が使用されています！

令和3年3月29日に行われた納品の様子

高麗版一切経とは

対馬市厳原町豆酘にある多久頭魂神社所有の「高麗版一切経」は朝鮮半島で刷られたお経の集大成です。

十五世紀に対馬へもたらされたことが推測されており、以後六〇〇年近くもの長い年月、ここ豆酘の地で保管され続けてきました。

そうした類い希な価値が認められ、平成二十九年(二〇一七)に国の重要文化財に指定されました。

実際の大きさ
(約40cm×32cm)

多久頭魂神社本殿

本修理事業費の一部は、公益財団法人住友財団から文化財維持・修復事業助成をいただいて実施しています。

【連絡先】
宗教法人　多久頭魂神社
〒817-0154　長崎県対馬市厳原町豆酘1250

長崎県対馬歴史研究センター（対馬博物館2階）
〒817-0021　長崎県対馬市厳原町今屋敷668-2
電話0920-52-3687

令和3年3月作成